

審議した主な議案

平成22年度一般会計歳入歳出 決算の認定について

8月30日の本会議において、議長を除いた全議員で構成する決算特別委員会に付託しました。

委員会の審査は、9月28日、30日、10月4日及び5日の4日にわたり行われ、合計で約36時間(休憩時間を含む)に及びました。

10月6日の本会議では、採決の結果、起立多数により認定しました。

【反対討論(要旨)】

田頭祐子(みどり・市民)

理由の第一は財政悪化。稲葉市政初年度の数値よりも悪化し、行財政改革の実を上げていない。第二は市民交流センター問題。登記や荷捌き駐車場問題の指摘に耳を貸さず、大失態を犯した責任は重い。更に長年のリース庁舎が解消されず、庁舎基金積立や新庁舎建設も大幅に遅れた。

【賛成討論(要旨)】

中根三枝(自民党小金井)

本決算は稲葉前市長が最後に執行したものとなります。決算規模は小金井市決算史上最大で形式収支が約11億8千万円、実質収支は約10億1千万円。人件費比率は19・9%で経常収支比率は96・7%でした。行財政改革の取組や新エネルギー機器購入費補助等を評価し賛成討論とします。

【反対討論(要旨)】

板倉真也(日本共産党)

市民の暮らしが年々厳しくなっているにもかかわらず、駅前大型開発への税金投入は止むことを知らず、一方で、学童保育や図書館本館窓口、小学校給食調理の民間委託を進めようとしてきた。市民の暮らしの実態からかけはなれた旧態依然の市政運営には、賛成できない。

平成23年度一般会計 補正予算(第3回)

8月31日の本会議で予算特別委員会に付託し、9月14日の委員会で審査しました。

補正の主な内容は、剪定枝類を資源化の対象に加え、事業規模を拡大する経費(1千722万円)、食育推進活動の支援、認証保育所の開設準備の補助を行うための経費(1千375万円)、離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年齢者等の失業者に対し新たな雇用を創出するための経費(857万6千円)、議会のインターネット録画配信をユーチューブによる中継配信に変更し、その準備費用の差額を減額(△65万9千円)などです。22日の本会議では起立採決

の結果、原案のとおり可決しました。

【賛成討論(要旨)】

遠藤百合子(自民党小金井)

名勝小金井桜の補植をする為に本町5丁目の緑地を苗圃とする点、小学5年生の鶴原への移動教室未実施による代替例として清里山荘への宿泊体験が実施される点、待機児童解消のため東小金井に定員40名の認証保育所が新設される点、行財政基盤確立の為に予算確保等により賛成する。

平成23年度一般会計 補正予算(第4回)

9月20日の本会議で予算特別委員会に付託し、22日の委員会で審査しました。

補正の内容は、市民交流センターの附帯設備と備品購入のための経費です。(3億3千656万1千円)

同日の本会議では、採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

【反対討論(要旨)】

渡辺大三(みどり・市民)

市長は選挙公約の「市民交流センター購入の是非を問う住民投票」を断念した。また、準備ができていないことを理由に、「住民アンケート」の実施にも背を向けた。民意を問うことを大々的に公約しながら、アンケートの準備すら行わない姿勢は、有権者に対する背信行為で許容できない。

【賛成討論(要旨)】

中山克己(自民党小金井)

本予算は市民交流センター附帯設備と備品購入の仮契約までの価格交渉をURと行うための前段予算となり施設を最大限活用する上で大変重要な

手続である。施設の機能を充分発揮できるよう当初予定されていたものが適切に納入設置され、公正な鑑定で時価相当額となるよう求め賛成する。

【反対討論(要旨)】

関根優司(日本共産党)

佐藤市長は自らムダ遣いと選挙公約に掲げた市民交流センターについて取得の方向に大きく舵を切ったと言わざるをえません。市長の公約に指摘されているとおり75億円のムダ遣いである市民交流センターは買わず、その財源を市庁舎建設や市民の暮らしのために使うべきです。

平成23年度一般会計 補正予算(第5回)

10月26日の本会議で予算特別委員会に付託し、27日、29日及び30日の委員会で審査しました。

補正の内容は、武蔵小金井駅南口第1地区第一種市街地再開発事業に係る1-III街区における権利変換計画の変更に同意することに伴い、新たに生じる権利床の清算に要する経費です。(339万7千円)

10月30日の本会議では、採決の結果、起立多数により原案のとおり可決しました。

【反対討論(要旨)】

森戸洋子(日本共産党)

本予算は市民交流センターの登記申請のため、権利変換の内容を変更するものである。これは取得の道に進む予算である。同センター前のコミュニティ広場の利用案は、市の財産を民間が利用することになり、地方自治法に抵触する恐れがあると思われる。よって本案に反対する。

市長の退職の期日に関する同意について

11月1日に提出され、同日の本会議で審議し、採決の結果、起立多数により同意しました。

【反対討論(要旨)】

片山薫(みどり・市民)

佐藤市長がなぜ辞めるのかまったく説明がない。各議員から市長の責任が追及されてきたが「ごみゼロ化への長期計画を立てる」発生抑制に取り組む」という公約を押し進めるべきである。多くの市民の期待のもとに4月の市長選で当選したばかりであり、辞職することに強く反対する。

平成23年度一般会計 補正予算(第6回)

11月14日の本会議で審議し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

補正の内容は、市長の退職に伴う市長選挙実施のための経費(3千647万6千円)及び市長選挙啓発のための経費(9万円)です。

常任委員の 所属変更

9月7日付けで委員会所属変更申出書が提出され、同日の本会議で決定されました。変更となった委員と委員会は次のとおりです。

片山薫

旧所属 厚生文教委員会
新所属 総務企画委員会

青木ひかる

旧所属 総務企画委員会
新所属 厚生文教委員会

新所属 厚生文教委員会
決議特別委員会
建設環境委員会
決算特別委員会

平成23年第3回 定例会日誌

(8月30日～10月5日)

30日	本会議(会期の決定、議案審議及び採決並びに陳情等採決、委員会付託)
31日	本会議(議案審議及び採決、委員会付託)
10月	議会運営委員会
2日	本会議(一般質問)
3日	議会運営委員会
4日	本会議(一般質問、議案審議、議員提出議案の審議及び採決、請願・陳情の委員会付託、常任委員の所属変更)
5日	本会議(一般質問)
6日	議会運営委員会
7日	本会議(一般質問、議案審議、議員提出議案の審議及び採決、請願・陳情の委員会付託、常任委員の所属変更)
8日	議会運営委員会
9日	厚生文教委員会
10日	建設環境委員会
11日	総務企画委員会
12日	予算特別委員会
13日	議員協議会
14日	議員協議会
15日	ごみ処理施設建設等調査特別委員会
16日	庁舎建設等調査特別委員会
17日	本会議(議案審議、委員会付託、陳情の撤回)
18日	議会運営委員会
19日	厚生文教委員会
20日	総務企画委員会
21日	建設環境委員会
22日	議員協議会
23日	本会議(議案審議及び採決、議員提出議案の審議及び採決並びに委員会付託)
24日	議会運営委員会
25日	予算特別委員会
26日	総務企画委員会
27日	決算特別委員会
28日	決算特別委員会
29日	決算特別委員会
30日	本会議(会期の延長)
31日	議会運営委員会
11月	議会運営委員会
1日	本会議(会期の延長)
2日	議会運営委員会
3日	決算特別委員会
4日	本会議(会期の延長)
5日	議会運営委員会
6日	建設環境委員会
7日	決算特別委員会

一般会計歳入・歳出決算の内訳

